

風の流氷

◆一般投稿作品◆ 広報委員会 選

源氏名のやうで本名椿剥く
春近し明日への希望わいてくる
ポールウオーク雨に降らるる大晦日
背いくらべ大根の花畑いち
春暁の夢に戦死の兄に逢う
山桜峰々染し裾模様
民宿の囲炉裏かこみて過ぎし夜
七草も畑で咲くや種の多き
移動車を待つ春日に話の輪
爺婆がオルゴールを巻くひなまつり
めがね掛けめがねを捜す春のどか
潮の香を胸に秘めつつ夕遍路

◆「涛光」グループ◆

あの角のこの隅までも猫じゃらし
藁塚の減り変はりたる原風景
里山のいきいき動く春田打
高速の陰の間引菜露重し
秋澄んでお宮参りの晴着かな
余所行きの杖買ふ母や春近し
亡き友を思い起こせし彼岸花

来し方の恥の幾つか酔芙蓉
ブラウスを緑に染めてげんげ畑
余命とやいとほしみつつ青き踏む
秋風や龍馬見ている土佐の海
もう止める持病のこだわり鱗雲
日溜まりの刈田に土筆秋最中
少しでも動けば母に玉の汗

◆とさやまだファミリア◆
新学期息子の笑顔も花満開
入学式はばたけ息子母願う
志望校ひ孫の頑張り桜咲け
桜咲き希望をのせたランドセル
桜散り友と別れし山田駅
先駆けて新茶たしなむ湯の音も
春風にくしゃみしている石地藏

◆かほく俳句会◆

料峭や汀は風を聞くところ
歳晩の納戸に埋もるスキー板
夜二度も目覚めさせたる余寒かな
山頂の猫の額を耕しぬ
水音も水の流れも春の瀬
翔ぶものの消えし名の梅二月
山棲みに鶉の声聞くひもすがら
うす青の空に透けたる梅真白
消防車止める野焼の一走り

香美市立美術館

アートの窓



当館収蔵作品の中から中村博の作品を選び、その教え子である織田信生と山崎道の作品も合わせ展示します。中村博は、高知県の戦後アートシーンで指導的立場にあり、多くの画家を育ててきました。織田信生と山崎道は恩

師との結びつきが強く、二人は中村の没後もその遺志を受け継ぎ、現在に至るまで、そのアトリエ（画塾）を運営してきました。中村博の想いが時空を超えて伝えられ、次の世代を育んでいることを紹介します。（館長 都築房子）

時空を超えて

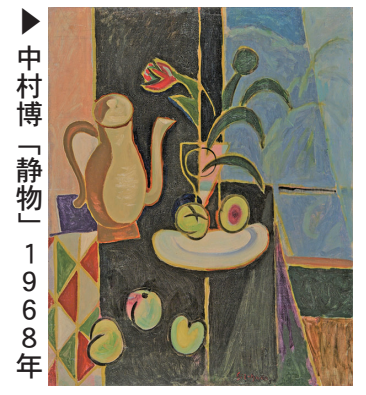
—中村博から織田信生・山崎道へ—

4月13日（土）～5月26日（日）

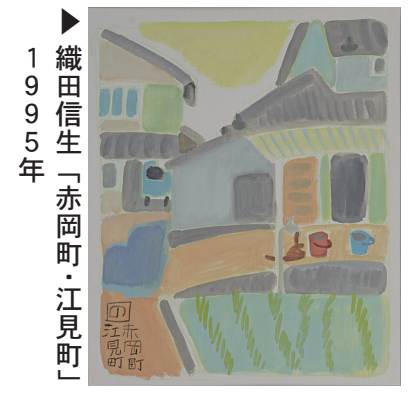
休館日／毎週月曜日
（月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館）

【関連企画】

- ① ギャラリートーク（展示室）
4月14日（日）14時～
登壇：岡林真奈・織田信生・山崎道
- ② ワークショップ（アトリエ室）
「ガラス絵をつくる」講師：山崎道
5月12日（日）14時～16時
参加費：1,800円（定員15名）
4月13日（土）～受付開始
- ③ 館長または学芸員による作品解説（展示室）
会期中毎日曜日 14時～



▶中村博「静物」1968年



▶織田信生「赤岡町・江見町」1995年



▲山崎道「それから」2008年

令和6年度 香美市立美術館 展覧会年間スケジュール

- 【第106回企画展】
時空を超えて
—中村博から織田信生・山崎道へ—
会期 4月13日（土）～5月26日（日）
- 【第107回企画展】
香美アートアニュアル vol.12
—混迷の時代の中で—
会期 6月5日（水）～7月21日（日）
- 【第108回企画展】
交差する眼差し
会期 8月3日（土）～9月23日（月・祝）
- 【第109回企画展】
きれいな絵（リニューアルオープン記念事業）
会期 11月2日（土）～12月22日（日）
- 【第110回企画展】
二館合同特別展 —そして続いていく—
会期 令和7年2月8日（土）～3月20日（木・祝）

※スケジュールは都合により変更になる場合があります。

今月のキラリ

広報委員会

爺婆がオルゴールを巻くひなまつり
3月3日のひな祭りの日に、なつかしい「あかりをつけましょぼんぼりに」の歌詞が出てくる童謡「うれしいひなまつり」のオルゴールをお孫さんに聴かせたら、喜んで、再三せがまれる、おじいちゃんとおばあちゃん。微笑ましく、家族のありようが想像できる、心あたたまる一句。
（季語：雛祭（春））

桜咲き希望をのせたランドセル
今年の桜の開花は3月20日、満開は3月29日と予想されています。小学校の入学にあわせて買った、まだ使われていないピカピカのランドセル。入学式を楽しみにしているご両親とお子さん。4月の入学式が本当に待ち遠しい、ピカピカの1年生。幸せな、希望ふくらむ一句。
（季語：桜（春））

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
【投稿先】総務課内広報委員会事務局 俳句・短歌係
〒782-18501（住所記載不要） FAX 53・5958